

～母子感染とは？～



母子感染とは、何らかの微生物(細菌・ウイルス・原虫等)が、お母さんから赤ちゃんに感染することを言います。妊娠前から微生物を持っているお母さんもいれば、妊娠中に感染するお母さんもいます。

特に妊娠初期に感染すると生まれてくる赤ちゃんに重い障害を残してしまう感染症があり、注意が必要です。今回は日常生活上の注意で防ぐことができるサイトメガロウイルス感染症とトキソプラズマ感染症について昨年8月の日本外来小児科学会で学んできたことをご紹介します。(看護師 真鍋)

サイトメガロウイルス感染症

— どんな病気？ —

ヘルペスウイルスの仲間であるサイトメガロウイルスによって感染する病気です。毎年3000人以上が感染し、そのうちの1000人程度に障害が起こります。生まれた時には症状がなくても、半年以上たってから難聴、精神・身体の発達の遅れや運動の障害を起こすことがあります。成人が感染しても無症状か、軽いかぜのような症状であるため気づきにくい病気です。

赤ちゃんにあらわれる症状は？

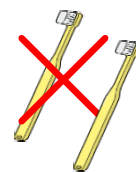
- ・小頭症 ・水頭症 ・子宮内での発達の遅れ ・眼の病気 ・難聴 ・てんかん
- ・精神、運動発達の遅れなど

感染経路は？

- サイトメガロウイルスは、幼児期にほとんどの人が唾液や尿から感染するありふれたウイルスです。
- サイトメガロウイルスに感染した幼児から唾液や尿を介して母親である妊婦へ感染し、胎児へ感染します。

妊娠中の注意点

- 上の子のおむつを替えた後、食事をさせた後、よだれや鼻水をふいた後、おもちゃを扱った後には十分な手洗いをしましょう。
- 子どもと食器を共有したり、子どもの食べ残したものは食べないようにしましょう。
- 子どもと歯ブラシを共有しないようにしましょう。
- 子どもにキスする時は唾液に触れないようにしましょう。
- 子どもの尿や唾液で汚れたものや、場所はきれいにしましょう。



トキソプラズマ感染症

— どんな病気？ —

トキソプラズマという寄生虫が、人の細胞の中に入り込む感染症です。妊娠中に感染するとおこる先天性トキソプラズマ症は毎年推定で100～300人いると考えられます。

健康な成人の場合は感染しても無症状か、軽いかぜのような症状が出る程度であるため自分では気づきにくい病気です。

赤ちゃんにあらわれる症状は？

- ・小頭症 ・水頭症 ・子宮内での発達の遅れ ・眼の病気（網膜炎、視力障害） ・脳性麻痺
- ・てんかんなど

感染経路は？

- トキソプラズマ原虫を含む生肉（牛・豚・鳥・羊など）や生ハムなどを食べた場合
- 猫の糞に含まれるトキソプラズマの卵が口から入った場合
- 猫の糞によって汚染された土を触って口から入った場合、その土で育った野菜や果物を食べた場合

妊娠中の注意点

- 猫の糞の片づけはできるだけ他の人に頼みましょう。
（自分でしなければならぬときは手袋、マスクを着用し手洗いを十分にしましょう）
- 猫の糞は必ず毎日捨てましょう。
- 飼い猫は外に出さないようにしましょう。（主に外で感染するため）
- 野良猫には接触しないようにしましょう。
- 庭仕事や畑仕事をするときには手袋を着用しましょう。
- 食肉は十分加熱し、生肉は食べないようにしましょう。
- 野菜や果物は食べる前によく洗いましょう。
- 食肉、野菜、果物を触った後は、十分に手洗いをしましょう。
- まな板、包丁は清潔に保ちましょう。
- 生水は飲まないようにしましょう。（井戸水や川の水など）



少しずつ意識した生活を心がけてみましょう。